

# 袋井のまちづくり提言

## 静岡理工科大生 交通や防災で施策

静岡理工科大(袋井市豊沢)の学生が、将  
来の袋井市のまちづくりに  
について考える講座

30人が、市職員のアド



袋井市のまちづくりについて提言する学生たち

静岡理工科大  
袋井市豊沢の学生たち

バイスを基に具体的な  
施策を提言した。

数人ずつの5グルー  
プに分かれて発表し  
た。テーマは「ゴミダ  
イエット大作戦」「コ  
ンパクトシティにおけ  
る公共交通」「スポー  
ツの復興」など。それ  
ぞれ市の現状を踏まえ  
た上で、持論を展開し  
た。

災害への備えを研究  
したグループは、災害  
発生時に現在地から避  
難所までの経路を示す  
機器「避難所レーダー」  
の導入、避難所確保を  
目的にしたドーム球場  
の建設などユニークな  
施策を提案した。リー  
ダーの総合情報学部2  
年小関寿弥さん(19) 〓

浜松市東区〓は「長年  
東海地震が恐れられて  
きたけれど、まだまだ  
課題があると分かつ  
た」と話した。

地域学は袋井市と同  
大の包括連携協定に基  
づき、毎年夏に開講し  
ている。今年で3年目。  
(袋井支局・木村祐太)